

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.41

こんな時こんな絵本 その13 「水遊び。どんなことに気をつける?」

おうちや園での水遊び、プール遊び。何を着せようか、着替えは大丈夫? どこで誰と着替える? シャワーは丸裸? 保護者から心配ごとが飛び交います。

絵本「だいじ だいじ どーこだ?」。からだのだいじなところ って どこか してる? だいじ だいじ どーこだ? どことこ? こことかな? こことは? こことも、かな? ぜんぶ せいかい からだはどこもとってもだいじ。なかでもとくべつ だいじなところがあるよ。—パンツは体の特別大事なところを守ります。パンツの中、おまた、おちんちん、お尻、あと胸も口も特別大事。特別大事なところ(プライベートパーツ)は、見るのも触るのも自分だけ。家族でも友だちでも先生でもじろじろ見たり勝手に触ったりしません。理由があって触る時は「さわっていい?」って聞きます。

子どもは幼少時から親に体を触られる時、声掛けをしてもらい大事に触られます。大人から守られ、大事にすることを伝えられながら、正しい触られ方の経験をすることで、大切にされている感覚が伝わります。良いタッチのされ方、良くないタッチのされ方も分かってきます。

着替えや肌の露出が多くなる夏場は、このようなことを子どもに伝えられる機会が

多くあります。命を守ることにつながる、とても大切なことです。

「こぐまちゃんのみずあそび」。おもしろいおもしろい つめたい つめたい かわだ かわだ はっぱの ぼーと、シャワーの おと ばら ばら ばらん—水の音を聞いたり、光が反射するのを見たり、ぬるい感触や冷たい感触を味わったり、大人の「水キラキラしてきれいだね」などの声掛けで、楽しさも共有できます。遊び方はさまざま。年齢に合わせて家にある身近な道具や材料で水遊びのバリエーションを増やすこともできます。

子どもたちの安全な環境をつくり子どもたちを見守りながら、子どもが集中して好きな遊びに取り組めるよう、一緒に楽しみながら暑い夏を健康で過ごしたいものです。

今回ご紹介する絵本



はじめての
「からだ」と「性」のえほん
だいじ だいじ どーこだ?
作 遠見 才希子
絵 川原 瑞丸
大泉書店



こぐまちゃんのみずあそび
作 わかやま けん
こぐま社

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。朗読指導者(公財 文字・活字文化推進機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター